

2022 年 12 月 13 日

横浜ゴム、「CDP 気候変動レポート 2022」の最高評価 A リストに 4 回目の選定

横浜ゴム（株）は 12 月 13 日、持続可能な経済の実現を目指す国際環境非営利団体「CDP」より、気候変動対策において権威ある「A リスト」に選定され、コーポレートサステナビリティにおける先進企業として認定されました。評価対象となった 10,000 社以上の企業の中から 2022 年度の CDP 気候変動質問書への回答により、排出削減、気候リスク緩和、低炭素経済構築などの取り組みが認められ、今回の選定に至りました。A リストに選定されるのは 2016 年、2019 年、2020 年に続き 4 回目です。

CDP は、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買組織の要請に基づき、企業や自治体に気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非政府組織（NGO）であり、その環境情報開示とその評価プロセスは、企業の環境報告におけるグローバルスタンダードとして広く認知されています。2022 年には、130 兆米ドル以上の資産を持つ 680 社以上の機関投資家と、6.4 兆米ドルの調達支出を持つ 280 社の大手購買企業が、CDP のプラットフォームを通じて環境への影響、リスク、機会に関するデータの開示を要請し、過去最高の約 18,700 社の企業がこれに応じました。

横浜ゴムグループは、2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のサステナビリティ経営において「未来への思いやり」をスローガンに掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を持続的な企業価値向上に繋げていきます。環境課題では「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「自然との共生」の 3 つを柱とし、それぞれに中長期目標と達成に向けたロードマップを設定しています。「カーボンニュートラル」では、国内外の生産・販売拠点に苗木を植える「YOKOHAMA 千年の杜」活動などのカーボンマイナス活動と合わせて 2050 年に自社活動のカーボンニュートラル化を目指していきます。



A リスト選定を表すロゴマーク

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570